

コンベンション KOBE

1997.1 冬 No.161



発行(財)神戸国際交流協会

〒650 神戸市中央区港島中町6丁目9-1

(神戸国際交流会議場内)

☎(078)302-5200 営(078)302-6485

インターネット <http://www1.meshnet.or.jp/kobe-mic/kia/> e-mail:p074207@kia.exd.city.kobe.jp

Let's "MEET IN KOBE"!

神戸の熱い思いを伝えたい

神戸市長 笹山 幸俊



コンベンションの主催者・関係各位に、謹んで新年のご挨拶を申しあげます。

昨年は、9月末の阪神高速道路神戸線全線開通により、やく交通アクセスもすべて震災前の状態に回復し、開催地として肩の荷が下りる思いでございました。これまでご不便覚悟で神戸開催にご努力くださった皆様には深く感謝するとともに、変わらぬご愛顧に心よりお礼申しあげます。

震災以前、コンベンション都市の老舗として実績を上げ、対外的にも一定の評価を頂戴していた神戸はある意味でそのポジションに慣れていたように思います。

ところが、大震災を機に原点に戻って再認識したことが多くありました。まず第一に、なぜコンベンションを誘致するのかということ。それは、世界の第一線の方々が集い、学ぶ国際会議をはじめコンベンションは街の活力の源であり、国際化・情報化に大きな役割を果たすからです。また経済的波及効果も期待されます。第2に、なぜ主催者の皆様が神戸復興支援の意味を込めてこれほど多くのコンベン

ションを開催してくださったのか。それは、コンベンションにとって開催地は、単に会場と利

用者という関わりではなく、成功に向けて知恵を出し合う人と人との関わりが培われるものだからではないでしょうか。第3に、主催者・参加者の皆様が開催地に望むものは何なのか。コンベンションのハードとソフトがバランス良く提供できることにあると思います。特に、全国的に施設建設が重視される中、サポートサービスへの期待が最も高まっていると思います。これらを痛感した私どもは、昨年来から積極的な取り組みを開始しました。“MEET IN KOBE 2000”と銘打って、国際会議誘致プロモーションを西暦2000年まで継続します（別頁に特集）。一方、スーパー・コンベンションセンター構想を早期事業化するために、阪神・淡路大震災記念プロジェクトへの位置づけを目指しています。

また、神戸国際マルチメディア文化都市構想（KIMEC構想）や上海長江交易促進プロジェクトといったコンベンションを創造するプロジェクトも推進していきます。

今後も“MEET IN KOBE 2000”的充実をはじめ日々のサポートサービスに努めて参りますので、何卒ご愛顧の程よろしくお願ひいたします。

特集 神戸で会議を

社団法人経済団体連合会 事務総長

三好 正也

④

あれから2年

阪神・淡路大震災からはや2年が経過しようとしている。大震災直後、多くの国民が、まるでわが肉親のことのように、被災者の置かれた厳しい状況に心を痛め、暖かい手を差し伸べた。我々はあの大震災を、まるで遠い過去の出来事のように感じながら、そのことを変化が激しい現代社会のせいにすることは許されない。被災地とそれ以外の地域の人々の認識のずれは相当拡大しており、世界でも類を見ない都市型の大災害となった阪神・淡路大震災の教訓は、いまや風化の危機にさらされている。

被災地では、今だに人口の流出が

続いている。その影響から小売業を中心とした第三次産業の復興が思うにまかせない状況にあると聞く。また、阪神高速神戸線の復旧の遅れなどにより、震災前には年間二千数百万人の人々が訪れた、わが国有数の都市型観光地「神戸」の地位が崩壊し、地域経済に暗い影を落としているといふことも耳にする。

神戸を訪ねることから

こうした観点から、被災地への支援の一つとして、我々一人ひとりが意識し、徐々にではあるが着実に復興の道を歩んでいる神戸を訪ねるということ

が考えられるのではなかろうか。

言うまでもなく、神戸は国際会議場や展示場、さらには宿泊施設などの面で、国際級の充実した機能を備えるコンベンションシティである。こうした施設は大震災直後から早く復旧しており、それらを被災地以外の者が極力利用することにより、神戸の経済的復興に協力できよう。

経団連でも現在、関連する国際会議等を神戸で開催できるかどうかを検討している。特に躍進めざましい近隣アジア諸国の経済人を神戸に招き、その復興ぶりを実際に見てもらい、併せて今後の国際交流のあり方などについて議論することは意義深いことであろう。関係各位におかれても、是非、神戸での国際会議・催し物の開催をご検討いただくようお願いしたい。

第8回日本臨床微生物学会総会

平成9年1月25日(土)～26日(日)

「O-157感染症」のシンポジウムも

開催にあたって

会長 本田 武司
(大阪大学微生物病研究所
・細菌感染分野・教授)

2年前の阪神大震災はかつて経験のない大惨事で、いろんな意味で私たちの生活や医療についての認識を再検討させる問題提起の機会になったのではないかでしょうか?

その神戸がいま力強く復旧中ですが、まだまだ多くの問題を残しています。学会会場をあえて神戸にしました



のは、医療に携わる沢山の方々にこの学会に参加して頂く事そのものが、「神戸ガンバレ」につながるものと考えたからです。また、平成8年は腸管出血性大腸

菌、いわゆるO157が社会的にも大問題になり不幸な出来事ではありました。感染症の重要性を認知して頂く良い機会になったことも事実です。

本学会では、「細菌性腸管感染症をめぐって」と題したシンポジウムを

はじめとし、「O157感染症」も急速とりあげ、検査、診断、治療および医学の各々の観点より総合的に討論していただき、新情報の提供が地域医療の向上に僅かでもお役に立てばと考えております。このほか、医療チームの質的向上を目的とした教育講談(知っておきたい細菌学名の知識)、感染症症例検討会のありかたを探るCPC、さらに、震災時の微生物検査協力の実績紹介、海外医療援助の現状等のトピックスをマルチメディアで紹介するセッションなど、欲張った企画を用意させて頂きました。

尚、2日目の午後1時より市民公開講座として、エイズの様々な問題を考える一人芝居『冬の銀河』の上演を用意致しております。入場は無料ですので、一般市民の方々も時間の許す限り観覧下さるようあわせてお願い申しあげます。



第3回関西国際土質工学フォーラム

KIG FORUM '97

平成9年1月13日(月)～15日(水)

都市直下型地震による地盤災害の実態と復旧対策 いかに神戸は立ち上がりつつあるか

開催にあたって

(社)地盤工学会関西支部
国際交流企画委員会
委員長 岩崎 好規
(財)大阪土質試験所
理事 所長



さらに本委員会では、環太平洋アジア地域の“比較地盤工学”を共通のテーマとして、KIG Forum(関西国際土質工学フォーラム)を定期的に開催しています

(社)地盤工学会関西支部では、地盤工学領域における国際化の進展に対応するために国際交流企画委員会を設置し、関西在住の地盤工学関係の技術者や留学生の相互交流を目的とした研究室めぐりやニュースレターを発行して活動を続けています。

各国における防災上の思想の変遷や地盤工学上での取り組み・実状を日本・台湾・米国・カナダから紹介し、



これらのテーマに合わせたディスカッションやポスターセッションも行う予定です。特に兵庫県南部地震は直下型である点が最大の特徴でしたが、米国における直下型地震のロマプリエタ、ノースリッジ地震の経験や、この地震を通して地盤工学分野における設計のレビューと今後の取り組みについての話題、カナダからはなかなか来ない地震を待ち受ける国の準備についての話題が予定されています。

招待講演者のほとんどは兵庫県南部地震直後に神戸を訪れ、関西の地盤を知っているいわば知関派で、比較地盤工学をテーマとする本フォーラムに深みのある議論ができると期待されます。未だ解決していない耐震地盤工学問題もありますが、KIG Forum'97は“被災都市を生き返らせるために地盤工学が果たした役割はどうであったのか”を総括し、他の環太平洋アジア地域における経験も加えて、地盤工学分野の国際的視野に立つ現状での総集編をめざしています。



ひとりの集い、快適アクセス。

新神戸オリエンタルホテル
〒650 神戸市中央区北野町1丁目
TEL.0120-75-5568
TEL.0120-75-4150
TEL.078-291-1121(代)

「新神戸駅」と直結。恵まれた立地条件に加え、最新の設備、心を込めたおもてなしで、コンベンションをパックアップします。

- 客室全数600室
- 2,500人収容(約2,000m²)の大宴会場など、24の会議室、宴会場
- レストラン・バー計10店
- 他、同一ゾーンに500人収容の劇場及びショッピングアベニュー

東京営業所 〒104 東京都中央区銀座6-2-1 DOMCビル6F
TEL.03-3572-3611

○JR山陽新幹線・市営地下鉄・北神急行「新神戸駅」と直結!三宮駅(JR・阪急・阪神)より地下鉄2分!大阪国際空港より車で40分

WHOシンポジウム 「地震と人々の健康」

～弱点の克服、予防とリハビリ～

平成9年1月27日(月)～30日(木)

世界中の知識と経験を交流の場に

開催にあたって

WHO神戸センター協力委員会
事務局長 大原 義弘

神戸市では、1996年3月に世界保健機関健康開発総合研究センター(通称:WHO神戸センター)が設立され活動を開始しています。

センターは、健康新政策に関する総合的、学際的研究を行うリサーチセンターとして、世界的規模で進ん

でいる都市化と健康の問題に取り組んでいます。

今回のWHOシンポジウムは、このWHO神戸センターが阪神・淡路大震災2周年を記念して開催するものであり、世界15カ国から40名余りの多分野にわたる専門家を招き、都市環境下における地震と人々の健康に関する諸問題について、



世界中の知識と経験を交流する場としようとするものです。

シンポジウムでは、地震の短期的・長期的影響、防災と復興等のセッションを設け、医療に関する問題を中心に保険、経済、災害管理など幅広いテーマが取り上げられ、阪神・淡路大震災における地元の取り組みをはじめ、米国ノースリッジ地震、中米諸国、中国、マケドニア、ロシア、トルコ、西欧諸国など世界中の地震の経験に裏付けられた貴重な報告等が行われます。

最終日には議論の成果を取りまとめ、提言を行う予定であり、都市における健康新政策や防災対策に生かされることが期待されます。

阪神・淡路大震災の貴重な経験を世界の人々と共有する機会であり、またWHOならではのグローバルなシンポジウムとなりますので多くの方のご参加をお待ちしています。



第11回「大学と科学」公開シンポジウム

平成9年1月21日(火)～22日(水)

生命を育む情報 細胞内シグナル伝達の研究、最近の進歩 掉尾を飾る西塚博士の特別講座

開催にあたって

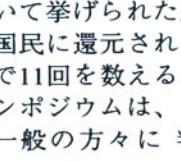
組織委員(本セッション司会人)
宇井 理生
(東京都臨床医学総合研究所所長)



金から我が国の中堅研究を支えるべくこの膨大な額が全国の国公私立大学、国公立研究所に配分されています。

その結果としてこれららの研究施設において挙げられた成果は、何等かの形で国民に還元されるべきものです。本年で11回を数える「大学と科学」公開シンポジウムは、この研究成果の一端を一般の方々に判りやすくお伝えし、

文部省の科学研究費は、先年遂に年額1千億円の大台に乗りました。欧米先進国に比べてまだ少ないとはいわれますが、貴重な国費すなわち国民の税



基礎研究への御理解を得ることを目的としています。本年度は7セッションが、東京、大阪、神戸で開かれます。

本セッションの主題である生命情報の研究は近年目覚ましい進歩を遂げつつある生命科学のハイライトの一つです。神戸大学の現学長西塚泰美博士は、この研究分野において世界の最高峰を築き上げた硕学であり、そのお膝元でこのシンポジウムが開かれるのはまさに意義深いものがあります。第1日の掉尾を飾って西塚博士の特別講演が予定されています。

情報社会といわれる現代に、生命情報はどこまで明らかにされてきたか。かつて物理学が産み出したニュートン力学、相対性理論、量子力学に匹敵するだけのパラダイムが生物学でも誕生することが期待できるだろうか。一般市民の方々の御参加をお待ちしております。



hotel
Okura
KOBE

国際会議からレセプション、セミナーまで
総合的にプロデュース。
ホテルオークラ神戸は、2,500名様収容の大宴会場「平安の間」をメインに充実の設備で、
国際都市神戸の多彩な集いをサポートいたします。

INTERNATIONAL



An International Seaside Landmark



ホテルオークラ 神戸
〒650 神戸市中央区波止場町2番1号 TEL.(078)333-0111
ご宿泊予約専用フリーダイヤル 0120-017489
ご宴会予約専用フリーダイヤル 0120-016489

第10回自己血輸血学会

平成9年2月28日(金)～3月1日(土)

輸血合併症を減らすために

開催にあたって

会長 富士 武司
(大阪府立病院整形外科部長)



る自己血輸血という方法があります。

本学会は、自己血輸血に関する各種の外科、麻酔科、内科、輸血部や血液センターが協力して、1人でも輸血合併症

を減らすために努力しています。会員は1,000人程度ですが、総会には600人程度の参加を見込んでいます。本学会で得られた知識を各々の病院で実践していただけます。輸血は、献血によってまかなわれておらず、充分な検査を行って実施していますが100%安全ではありません。そこで、輸血による合併症や副作用を軽減させるために、自分の血液を用い

輸血が行いにくかった貧血患者にも適応を広げることができるように検討していただきます。貧血患者については、回収式など他の方法の自己血輸血も主題に取り上げます。また、癌手術に関する自己血輸血も回収式自己血輸血における回収血の性状とともに主題としました。主題に関連して、28日夜にはサテライトシンポジウムを、1日にはランチョンセミナーも計画しました。

自己血輸血は臨床の場で行うものですから実施に伴って必要となる器械類についても、新しく器械展示を計画しました。これから自己血輸血を始めようという施設の先生は、是非お立ち寄り下さい。

血液中の各種の成分を採取しておいて化学療法の後に返血するという内科で用いる自己血輸血も、今後発展が期待されます。会員以外の先生方の御参加も大歓迎しております。



近畿救急医学研究会

第75回 日本救急医学学会近畿地方会(医師部会)/第48回 看護婦部会/第71回 救急隊員部会

平成9年3月8日(土)

集団災害としてのO157その経過と反省

開催にあたって

当番幹事 立道 清
(神戸市立中央市民病院 救急部長)



訓と反省点」を企画しました。

大腸菌O157感染症は、平成8年5月29日岡山県集団発生が報告されて以来、半年を経過しながら依然として感染経路が不明確であります。私達は日本の予防医学の高い水準を信じて来ただけに割り切れぬ思いがありますが、この講演を機により理解を深め、ついに「指定伝染病」となったO157を単に感染症に対する救急対応としてではなく、

実施内容

①三部合同講演会

12時30分～13時30分

「志賀毒素産生性大腸菌感染事例の

教訓と反省点」

日本生物科学研究所 坂崎 利一

②医師部会一般演題 13時14分～17時

③看護婦部会/パネルディスカッション

「救急における感染症対策」

及び一般演題 13時40分～17時

④救急隊員部会・一般演題

13時40分～17時

1997年3月、神戸に新たなステージ誕生!

国際会議場ポートピアホール

席数 1,700席(1階/1,308席 2階/392席)
スクール形式 610席

- 6カ国同時通訳設備
- コンサートホール対応(残響可変装置)(音響反射板)

お問い合わせ Tel.078-302-1111
ポートピアホテル
〒650 神戸市中央区港島中町6丁目10番地

KOBEインターホーム'97

平成9年9月3日(水)～6日(土)

8回を迎えて西日本を代表する住宅展示見本市に成長

秋の恒例となった国際見本市「KOBEインターホーム'97」が今年も9月3日(水)から9月6日(土)の4日間、神戸国際展示場で開催されます。

「KOBEインターホーム」は、1990年にスタートして以来、今回で8回目を迎えますが、この間、国内及び海外の企業・団体の参加を得た住宅、設備、建材などを展示する西日本を代表する住宅関連見本市に成長し、関係各界からも高い評価を得ています。

今回は、阪神・淡路大震災で大きな被害を受けた住宅の早期復興のため、「住宅復興支援」をメインテーマに輸入住宅をはじめ耐震・免震技術、高齢者・身障者対応住宅(パリアフリー住宅)、省エネ環

境共生住宅の4つを柱にすまいの最新情報を神戸から発信します。

出展が予定されているものとしては、輸入住宅・建材、高齢者・

身障者対応住宅及び設備、建築材料、住宅設備・機器、家具・インテリア、リフォーム関連、エクステリア、耐震・免震技術、建築設計システム(CAD)、景観材料などで、すまいに関するあらゆるもののが一堂に集まります。工務店や設計事務所をはじめ住宅産業に関わっている方々や住宅の新築、改築を考えておられる方々には興味がつきない見本市となることでしょう。



昨年の開催風景

また、併催イベントとして記念講演会やシンポジウム、セミナー、ワークショップ(製品説明会)のほか輸入住宅見学バスツアーなどが企画されています。

主催は(財)神戸国際交流協会と日刊工業新聞、神戸市住宅供給公社が共催していて、会期中に7万人の入場者を見込んでいます。午前10時から午後5時(最終日のみ午後4時30分まで)。入場料は500円。

ります。国、地方公共団体、民間施設(病院、介護施設、学校、美術館、博物館、遊戯場、スポーツ施設、集合住宅、テナントビル等)の防災関係者、一般企業の防災担当者にとっては必見の展示会であると言えるでしょう。展示会には137社5団体が234小間を出展します。

入場料は無料(登録制)。午前10時から午後6時まで。

また、同時開催として神戸国際会議場では1月16日(木)に「大震災への挑戦'97」神戸フォーラムが、翌17日(金)・18日(土)には「地域防災シンポジウム'97 in 神戸」が開催されます。

震災対策技術展'97

Earthquake Technology Expo, Kobe

～震災対策技術の向上と対策設備の推進～



平成9年1月16日(木)・17日(金)

震災から2年目を迎える1月16日(木)・17日(金)の両日、神戸国際展示場で第1回「震災対策技術展'97」が開催されます。

平成7年1月17日未明に発生した「阪神・淡路大震災」は、わが国では初めての都市における直下型大地震で、規模はマグニチュード7.2、最大震度は気象庁観測史上初の震度7を記録しました。自然の猛威は一瞬にして多くの尊い命を奪い、住

宅、建物、ライフライン、道路、鉄道、港湾施設などの都市の基盤を破壊しました。

神戸市は「震災対策のモデル都市」として、「阪神・淡路大震災」での経験と教訓を内外に伝え続けていくことが、大震災を風化させないためにも大切な役割であります。

その一つがわが国でも初めての「震災対策技術展'97」の開催であります。同展では、地震を関知するものから、被害を未然に防止するもの、そして地震発生時の緊急対応、さらに早急な復旧への各種技術・サービスの数々が紹介されます。

これらは従来からの対策技術に加え、震災を経験に開発された技術、出典者の自社技術を応用し震災対策に向け新たに開発された技術などで、200点以上の最新の震災対策技術・情報が一堂に会します。

震災に強い都市づくりは地震多発国、日本の重要な課題であ

新しい神戸開催展示会

第1回神戸国際宝飾展 (1st International Jewelry Kobe '97)

会期 1997年6月12日(木)～14日(土)

会場 神戸国際展示場

主催 リードエグジビションジャパン(株)

特別後援 (社)日本真珠振興会、世界真珠機構

世界旅行博・関西'97(神戸)

(WORLD TRAVEL FAIR-KANSAI '97<KOBE>)

会期 1997年7月18日(金)～21日(祝)

10時～18時

会場 所 産業貿易展示館

主催 世界旅行博・関西'97実行委員会

Convention Stage

国際都市・神戸だからこそ、ホテルゴーフルリツでは、あらゆるお集まりにふさわしいコンベンションステージをご用意いたしております。

客室120室/レストラン&バー7店/宴会場7室
結婚式場・チャペル/ファッショナライブリー

HOTEL GAUFRES RITZ
ミナサン コーフル
〒650 神戸市中央区港島中町6丁目1番地
TEL(078)303-5555

国際会議誘致プロモーション

「MEET IN KOBE 2000」始動



対象となる会議

神戸市はポートピア博覧会を機に1981年からコンベンション都市づくりを始めました。それから16年。全国の都市がコンベンションによるまちづくりをうたい、都市間競争は激化の一途を辿っています。全国で新しい施設の建設が目立つ一方、主催者の側からは、むしろ会議のサポートの充実を望む声が聞かれます。

そこで、私共は、この度、今までに御提供していたサポート内容を精査し、さらに、新たなサービスを加えて、コンベンションプロモーションを開始いたしました。

日本で初めて 神戸が取り組み

阪神・淡路大震災を経験した私どもは、第一線の人々がグローバルに集い、語らう国際会議が果たす役割の大きさを改めて痛感しました。それが、初心に返って、お客様の立場に立って、今一度国際会議の主催者・参加者の皆様にご満足いただけるサービスについて考える機会になったと思います。

MEET IN KOBE 2000は、神戸市内で開催される一定条件を満たす国際会議を対象にしてさまざまな特典サービスを取り揃え、提供して参ります。このような取り組みは、シンガポールやフィリピンでは見られるものの、日本では初の取り組みとなりました。

また、このプロモーションは多くの皆様にご利用いただくため、西暦2000年まで継続します。その思いを込めてMEET IN KOBE 2000と名付けました。

明日のお仕事、神戸のどちらですか?
スタートラインは北上ホテルから

北上ホテル
ANNEX



シングル ¥ 7,500~

ツイン ¥ 12,500~

ダブル ¥ 12,500~

神戸市中央区加納町4丁目8-19

TEL 078-391-8781

ご会食
ご宴会は、

参加者へのサービス

- 宿泊施設でのコンベンションレートの提供
(協賛ホテルへ事前にご予約ください。)
※ 割引率は正規料金に対し適用します
※ 協賛ホテルについては事務局へお問い合わせください。
MEET IN KOBE 2000 協賛ホテル A
宿泊料金を15~40%割引
その他付加サービスの提供
MEET IN KOBE 2000 協賛ホテル B
宿泊料金を10%割引
- 関西国際空港からの最短アクセス
『K-JET(神戸ジェットフォイル)』運賃を普通乗船運賃から400円(約20%)割引
[利用方法: 乗船カウンターで割引証と交換に400円(約20%)割引で乗船券を購入]
- 神戸コンベンションセンターと市街地三ノ宮を結ぶポートライナー運賃を普通乗車運賃から30%まで割引 [利用方法: MEET IN KOBE 2000 事務局へ事前に主催者より申込]
お買物の優待など特典がついた「MEET IN KOBE 2000 カード」の発行
- 神戸コンベンションセンター周辺グルメマップの提供

MEET IN KOBE 2000の対象とならない 小規模国際会議へのサービスは

国際会議開催補助金を1件あたり200万円まで交付いたします。(但し、会議開催総事業費の5%が上限)
それ以外のサポート体制についても、個々にご相談を承りますので、下記の事務局までご連絡ください。

MEET IN KOBE 2000の 相談受付窓口は

(財) 神戸国際交流協会コンベンション事業部内
MEET IN KOBE 2000 事務局
〒650 神戸市中央区港島中町6丁目9番1号
神戸国際会議場2階
電話 078-302-5200 FAX 078-302-6485
E-mail p 074207@kia.exd.city.kobe.jp
http://www1.meshnet.or.jp/kobe-mic/kia/

MEET IN KOBE 2000 案内パンフレット もご送付申しあげます。

専任スタッフが、その他コンベンション全般についてもご相談を承ります。

今後も一層充実した内容を提供していくよう努力してまいりますのでよろしくお願ひいたします。

ICC(国際産業映画・ビデオ祭)優秀作品上映会

参 加 者 摘 集

「産業映画のカンヌ祭」とも呼ばれ、産業映画を対象とした映像祭としては最も権威のある「国際産業映画・ビデオ祭」が、今回からICC(International Communication Congress)と名称を変更し、22カ国から146作品(日本からは17作品)を集めて、昨年6月11日から14日の4日間、フランス、ビアリッツ市で開催されました。

この映像祭のグランプリ作品をはじめ、各部門の入賞作品など、内外の優秀作品を取り上げ、200インチの迫力ある大画面で上映します。

多数の御参加をお待ちしています。(入場無料)

日 時 平成9年2月21日(金)午後2時~4時30分

場 所 神戸国際会議場メインホール

申込方法 往復ハガキ、またはFAXで下記へ

(2月1日より受け付け開始)

申込・問い合わせ先 〒650 神戸市中央区港島中町6-9-1

(財)神戸国際交流協会「産業映画祭」係

☎ 078-302-5200 FAX 078-302-6485

神戸国際会館再建工事着工

平成11年春
完成予定

戦後復興のシンボルとして建設され、長年にわたって国際交流や芸術文化活動の拠点として親しまれていた神戸国際会館は、阪神・淡路大震災で全壊し、解体されておりましたが、この度、その再建工事が11月1日に着工されました。

新しい国際会館は商業・情報・文化などを融合した複合型都心機能をもたらしたインテリジェントビルで、高さ116mの鉄筋コンクリート22階建て、延べ床面積は6万平方メートル。約2,000席の多目的ホールをはじめ、映画館、銀行、専門店などが入居し、高層部は、13階から22階がオフィス、14階が貸会議室となる予定です。さらに、地下には現在建設中の神戸市営地下鉄海岸線の三宮駅が連結されるほか、地下街を通じて各交通機関と連絡されます。総事業費は約290億円で、平成11年の春に完成予定。

編集後記

本年より、より読みやすい紙面を目指して、版型をA4・横書き・2色刷とすることになりました。皆様からの御意見・御感想をお待ちしております。

さて、本文のとおり、市内のホテル・企業・団体の皆様の御協賛・御協力を得て、この度、「MEET IN KOBE 2000」という国際会議誘致プロモーションを始めることとなりました。開催日数3日以上、参加者数300名以上(うち海外よりの参加者100名以上)、参加国5カ国以上という中型以上の国際会議を対象に、今まで以上に充実したサービスを提供してまいります。また、要件に満たない会議につきましても、これまで通り、きめ細かなサポートを用意しておりますので、本年もよろしくお願い申し上げます。



国際コンベンション都市神戸にふさわしい風格

神戸商工会議所会館

神戸国際会議場に隣接

国際会議から各種講演会・セミナー・会議・宴会等人数や目的に応じご利用いただけます。

☎ (078)303-5804 〒650 神戸市中央区港島中町6-1

神戸コンベンションカレンダー

1996年1月～3月
財団法人 神戸国際交流協会

会議	会議名	会場	参加総数 (海外参加者)	主催者または連絡先	分類
1月					
13日(月)～15日(水)	第3回関西国際土質工学フォーラム	神戸国際会議場	200名 (13カ国20名)	土質工学会 06 (946) 0393	国際会議
15日(水)～16日(木)	大震災への挑戦'97	神戸国際会議場	500名 (11カ国20名)	東京都総務局災害対策室 03 (5321) 1111	国際会議
16日(木)～17日(金)	震災対策技術展'97	神戸国際展示場	20,000名	「震災対策技術展'97」運営 事務局 03 (5474) 9516	国内展示
18日(土)～19日(日)	市民とNGOの「防災」国際フォーラム	神戸国際展示場	20,000名	市民とNGOの「防災」国際フォーラム 実行委員会078 (578) 6923	国内展示
19日(日)～24日(木)	国際ワークショップ「偏極3Heビーム及び ターゲットの生成とそれを用いた物理」	神戸国際会議場	100名 (9カ国50名)	神戸常盤短期大学 078 (611) 1821	国際会議
21日(火)～22日(水)	第11回「大学と科学」公開シンポジウム	神戸国際会議場	400名	中日本装備(株) 052 (322) 1700	国内会議
22日(水)～23日(木)	'97夏・日本グランドシーソークコレクション	神戸国際展示場	8,000名	日本ケミカルシーズ工業組合 078 (661) 2525	国内展示
24日(木)～26日(日)	第8回日本臨床微生物学会総会	神戸国際会議場	1,000名	大阪大学微生物病研究所 06 (877) 5111	国内会議
27日(月)～30日(木)	WHOシンポジウム「地震と人々の健康」 ～弱点の克服、予防とりハビリ～	神戸国際会議場	200名 (15カ国40名)	WHO神戸センター協力委員会 078 (303) 6221	国際会議
28日(火)～29日(水)	第54回春の神戸シーソーク見本市	神戸国際展示場	1,000名	神戸シーソーク卸協同組合 078 (661) 2255	国内展示
2月					
9日(日)	神戸生命倫理研究会	神戸国際会議場	300名	みどり病院 078 (928) 1700	国内会議
15日(土)	医学会セミナー	神戸国際会議場	500名	コンベック 03 (3589) 3355	国内会議
15日(土)～16日(日)	第11回'97神戸輸入自動車ショウ	神戸国際展示場	30,000名	神戸輸入車ショウ運営委員会 事務局 078 (453) 1171	国内展示
22日(土)	関西超音波学会	神戸国際会議場	700名	神戸大学医学部健康学会 078 (796) 4523	国内会議
24日(月)	メモリアルカンファレンス	神戸国際会議場	1,000名	神戸市震災復興本部総括局 078 (322) 6213	国内会議
27日(木)～28日(金)	第10回日本自己血輸血学会総会	神戸国際会議場	400名	大阪府立病院 06 (873) 2301	国内会議
3月					
3日(月)～5日(水)	原子力発電所の耐震安全性に関する 国際シンポジウム	神戸国際会議場	200名 (15カ国50名)	(財)原子力発電技術機構耐震 技術センター 03 (3434) 4551	国際会議
8日(土)	日本救急医学会	神戸国際会議場	800名	神戸中央市民病院 078 (302) 4321	国内会議
10日(月)～11日(火)	大震災と地盤講演会	神戸国際会議場	未定	神戸市震災復興本部総括局 078 (322) 6213	国内会議
1997年主なコンベンション					
4月	6日～11日 IEEE INFOCOM 8日～13日 神戸蘭展		19日～20日 日本神経眼学会 28日～30日 二分脊椎国際シンポジウム		
5月	13日～17日 1997年国際鋼加工業者合同会議 14日～16日 日本看護協会総会 14日～16日 國際対癌シンポジウム「家族性腫瘍とがん予防」 23日～25日 日本臨床皮膚科医学総会 27日～28日 並列処理シンポジウム 28日～29日 The 1997 JET Program Renewers' Conference 30日～6月1日 3rd Int'l Conf.on the Medical Aspects of Telemedicine		10月 1日～3日 日本応用糖質科学会国際シンポジウム 3日～4日 日本関節外科学会 5日～8日 日本物理学会1997年秋の分科会 6日～7日 第7回製剤機械技術研究大会 8日～9日 日本スペイン経済委員会 9日～10日 中部日本整形外科災害外科医学会 15日～17日 日本人類遺伝学会第42回大会		
6月	12日～13日 日本国語療法学会 12日～14日 神戸国際宝飾展		18日 第2回関西西部力ナダビジネスフォーラム 28日～11月2日 第44回日本臨床病理学会		
7月	4日 パスキュラー・メディスン学会 10日～11日 肝動脈外科学会 18日～21日 世界旅行博・関西'97神戸 25日～27日 第19回日本光医学光生物学会		11月 3日～6日 The Conf.of the Int'l Council for Innovation in Higher Education 4日～8日 ユネスコアジア生命倫理セミナー 12日～14日 水道管路国際シンポジウム 15日 日本循環器学会		
8月	1日～2日 日本看護学教育学会学術集会 19日～22日 AIED97教育における人工知能国際会議		20日～21日 日本音声言語医学会 25日～27日 第17回医療情報連合大会		
9月	3日～6日 KOBEインターホーム'97 6日～8日 エコアジア大臣会議 11日～13日 中小企業テクノフェア		12月 5日～6日 日本看護学会 19日～20日 日本冠疾患学会		

(注)ゴシック文字は国際会議・国際見本市(展示) ※開催時期等は今後、変更される場合があります。